

ネットワーク稼働監視ソフト

RPC EYE V4
RPC EYE V4 PRO

■ 取扱説明書 ■

明京電機株式会社

目次

目次	1
1.はじめに	3
●動作環境.....	3
2.セットアップ方法	4
[1] ソフトウェアのインストール方法.....	4
[2] リブーター側の設定.....	6
(1) タイプAでの設定方法	6
(2) タイプBでの設定方法	7
(3) タイプCでの設定方法	8
[3] RPC EYE V4へのリブーター登録方法	10
[4] 監視	12
3.画面説明・各種設定方法.....	13
[1] 監視画面	13
①操作ボタン	13
②時刻表示エリア	14
③監視表示ボタン	14
④表示アイコン数.....	14
⑤温度データ・グラフ	15
⑥機器一覧, グループ表示エリア (「グループ」タグはPRO版のみ).....	15
⑦監視アイコン, ログ表示エリア	16
⑧機器設定詳細表示エリア	17
⑨監視情報受信表示エリア	17
⑩表示アイコン情報.....	18
[2] 基本設定画面	18
(1) 共通.....	18
(2) 通知音.....	19
(3) E-MAIL通知	20
(4) 機器の登録	21
(5) 情報.....	22
[3] 機器情報 登録/編集画面	23
(1) 名称登録.....	24
(2) 接続.....	24
(3) ログ保存	26
(4) 通知機能.....	27
(5) 情報.....	27
[4] 個別情報画面	28
[5] 詳細情報.....	28
(1) 基本情報	29
(2) 死活状態.....	29
(3) 応答状態.....	29
(4) 温度情報.....	30
4.(PRO版のみ)グループ制御	31
[1] 登録方法	31

[2] 削除方法.....	32
[3] 実行方法.....	32
[4] 設定ファイル作成方法.....	33
5.設定のバックアップ方法.....	35
●rpcv4backup.exe使用方法.....	35
(1)バックアップ方法.....	35
(2)リストア方法.....	35
6.ログ仕様.....	36
[1] 保存ログ形式.....	36
[2] E-MAIL形式.....	36

1.はじめに

当社製品をご利用ありがとうございます。

- ・RPC EYE V4 (監視タイプ:対象250台)
- ・RPC EYE V4 PRO (制御タイプ:対象250台)(以下、「PRO版」と呼ぶ)

RPC EYE V4は当社製品を利用してネットワークの稼動状態を監視するソフトウェアです。

(PRO版はグループ電源制御も可能です。)

各機器のアウトレットごとに監視状態を表示します。以下の機能があります。

- ・稼動監視機能
- ・電源状態監視
- ・PING監視の状態監視
- ・温度監視の状態監視
- ・監視状態のログ保存
- ・電源制御
- ・(PRO版のみ)グループ単位での設定書込
- ・(PRO版のみ)グループ電源制御

<http://www.watchboot.com/meikyo/software/eye4.zip> からダウンロードし解凍していただくと

まずインストーラ形式のexeファイル(rv40setup)が展開されます。

そのexeファイルを実行すると、以下のファイルがさらに展開されます。

- ・RPC EYE V4本体(rpceye4.exe)
- ・設定バックアップソフト(rpcv4backup.exe)
- ・取扱説明書(本書)

の3つのデータになります。これらをふさわしいフォルダに格納してご使用ください。

(Windowsのスタートメニューに登録されますので、そこからもご利用いただけます。)

●動作環境

[必須条件]

- ・対応OS: Windows 10 (32/64) ※Macintoshには対応していません。
- ・CPU: 1GHz以上
- ・メモリ(RAM): 4GB以上
- ・ハードディスク: 10GB以上の空き容量
- ・ディスプレイ: 解像度800×600ピクセル以上

2. セットアップ方法

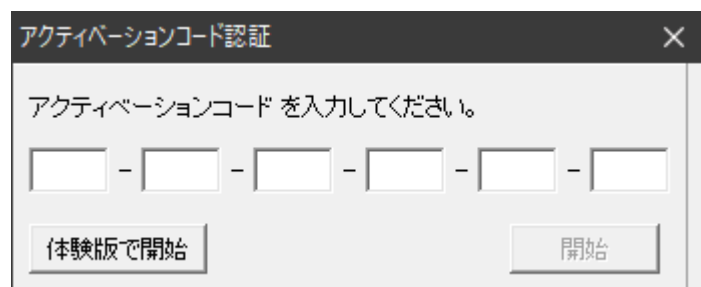
本製品を使用するためには

- 1) ソフトウェアのインストール
- 2) 明京電機株式会社製品, 各種リブーターでの設定が必要です。

[1] ソフトウェアのインストール方法

- 1) まず「ライセンスカード」に書かれているURL
<http://www.watchboot.com/meikyo/software/eye4.zip> から「RPC EYE V4」をダウンロードしてください。

- 2) 「rpceye4.exe」を実行すると、「アクティベーションコード認証」画面が表示されます。「ライセンスカード」に書かれている「アクティベーションコード」を入力し、「開始」を押下してください。

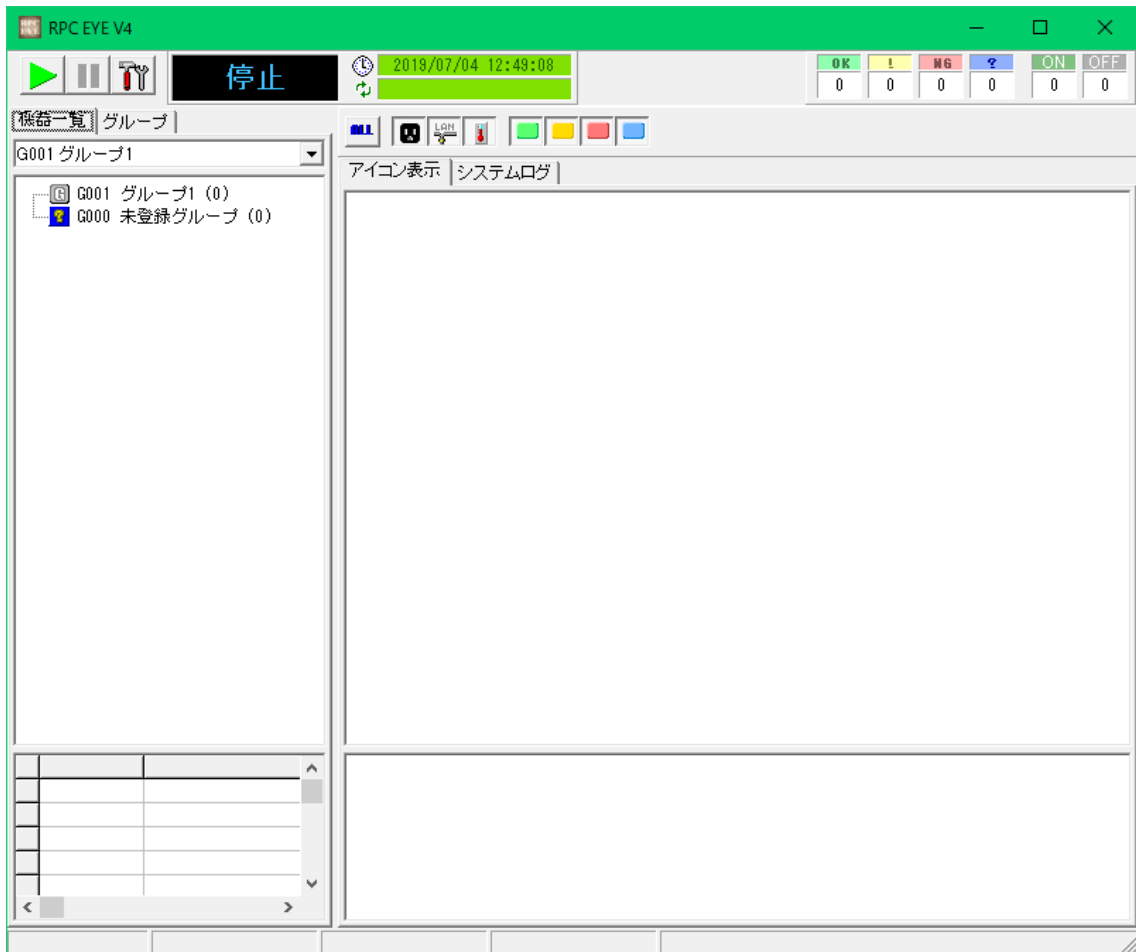


注意 「アクティベーションコード」がなければソフトウェアは起動しません。
購入後届いた「アクティベーションコード」の印字が不明瞭であるなど不具合がある場合、すぐ弊社にお問い合わせください。
(mail: form@meikyo.co.jp)

- 3) 「情報」ウィンドウが表示されます。情報を確認し、[OK]を押下してください。



4) 通常画面が表示されます。



[2] リブータ側の設定

以下の弊社リブータに対応しています。(ただし、RSC-MT4H, RSC-MT8F, RSC-MT8FP, RSC-MT8FS[下記▲]については一部の機能が対応しておりません。→p.24,25,30をご覧ください)

【Sシリーズ】

- ・RPC-M2CS
- ・RPC-M5CS
- ・RPC-M4LS
- ・RSC-MT4HS
- ・RSC-MT8FS▲

→タイプAをご覧ください。

→タイプBをご覧ください。

【PoEリブータ】

- ・PoE8M2

【Sシリーズ以前のRPC系, RSC系】

- ・RPC-M2C ・RPC-M5C
- ・RPC-M4L ・RPC-M4H
- ・RSC-MT4H▲ ・RSC-MT8F▲ ・RSC-MT8FP▲

→タイプAをご覧ください。

→タイプCをご覧ください。

(1) タイプAでの設定方法

<1>WEBブラウザで設定する場合

1) admin権限でリブータにログインしてください。

2) 「通信設定-通信詳細設定」の【状態通知機能】で設定を行います。

・「状態通知機能」→[有効]に。

・「IPアドレス」

→RPC EYE V4がインストールされているPCのIPアドレス

・「ポート」:デフォルト 5000

●RPC EYE V4の「受信ポート指定(UDP)」で設定されている値と合わせてください。

・「送信間隔(秒)」:デフォルト 300秒
(状態通知パケットを送信する間隔を設定します)

3) 画面下部にある[適用]を押下してください。状態通知パケットの送信を開始します。

画面例:RPC-M5CS

<2>TELNETおよびターミナルソフトで設定する場合

1) admin権限でリブータにログインしてください。

2) 以下の変数の設定を行います。

msrpEnabled
ipAdCenter

「1」に

IPアドレスを指定します。

(RPC系:3箇所まで。RSC系:8箇所まで)

(複数箇所指定する場合、「コンマ区切り」で入力すれば指定可能です。)

例: 192.168.0.1,192.168.0.2,192.168.0.3

centerSendTimer

状態通知パケット定期送信間隔(秒)

●変数の設定値変更方法●

1) TELNETやシリアル通信でログイン後、「>」が表示されている状態で「.(ピリオド)」
「変数」「=__ (設定希望値)」と入力し、
Enterを押下してください。

2) 次行に、有効な値であればその値が、無効な値であれば現状値が表示されます。

```
ID:
Password:
OK
Noname> .msrpEnabled=1
msrpEnabled=1
Noname> write 220 Command OK.
Noname> []
```

3) その設定を書き込むため「write」と入力し、Enterを押下してください。「220 Command OK」と表示されれば、書込成功です。

3) 「q」もしくは「exit」と入力し、Enterを押下して、コマンドラインを終了してください。

(2) タイプBでの設定方法

<1>WEBブラウザで設定する場合

1) admin権限でリブーターにログインしてください。

画面例:RSC-MT4HS

2) 「ネットワーク設定-詳細設定」の【状態通知機能】で設定を行います。

・「状態通知機能」

→プルダウンで[RPC-EYE v3]を選択してください。

・「IPアドレス」

→RPC EYE V4がインストールされているPCのIPアドレス

・「ポート」:デフォルト 5000

●RPC EYE V4の「受信ポート指定(UDP)」で設定されている値と合わせてください。

・「送信間隔(秒)」:デフォルト 300秒

(状態通知パケットを定期送信する間隔を設定します)

状態通知機能		
状態通知機能	無効	
1	IP アドレス	
	ポート 5000	
2	IP アドレス	
	ポート 5000	
3	IP アドレス	
	ポート 5000	
4	IP アドレス	
	ポート 5000	
5	IP アドレス	
	ポート 5000	
6	IP アドレス	
	ポート 5000	
7	IP アドレス	
	ポート 5000	
8	IP アドレス	
	ポート 5000	
送信間隔(秒) 300		
アウトレット運動一斉制御送信		
	制御	動作
1	指定無し	無動作
2	指定無し	無動作
3	指定無し	無動作
4	指定無し	無動作

3) 画面下部にある[適用]を押下してください

い。状態通知パケットの送信を開始します。

<2>TELNETおよびターミナルソフトで設定する場合

1) admin権限でリブーターにログインしてください。

2) 以下の変数の設定を行います。

syslogEnabled 「3」に

ipAdCenter IPアドレスを指定します。

(RPC系:3箇所まで。RSC系:8箇所まで)

(複数箇所指定する場合、「コンマ区切り」で入力すれば指定可能です。)

例: 192.168.0.1,192.168.0.2,192.168.0.3

centerSendTimer 状態通知パケット定期送信間隔(秒)

●変数の設定値変更方法●

1) TELNETやシリアル通信でログイン後、「>」が表示されている状態で「.(ピリオド)」「変数」「=_ (設定希望値)」と入力し、Enterを押下してください。

2) 次行に、有効な値であればその値が、無効な値であれば現状値が表示されます。

```
ID:
Password:
OK
Noname> .syslogEnabled=3
syslogEnabled=3
Noname> write 220 Command OK.
Noname> █
```

3) その設定を書き込むため「write」と入力し、Enterを押下してください。「220 Command OK」と表示されれば、書込成功です。

3) 「q」もしくは「exit」と入力し、Enterを押下して、コマンドラインを終了してください。

(3) タイプCでの設定方法

<1>WEBブラウザで設定する場合

1) admin権限でリブーターにログインしてください。

画面例:RSC-MT8FP

2) 「ネットワーク設定-詳細設定」の【状態通知機能】で設定を行います。

・「状態通知機能」

→プルダウンで[RPC-EYE]を選択してください。

・「IPアドレス」

→RPC EYE V4がインストールされているPCのIPアドレス

・「ポート」:デフォルト 5000

●RPC EYE V4の「受信ポート指定(UDP)」で設定されている値と合わせてください。

状態通知方法		RPC-EYE ▼
1	IPアドレス	
	ポート	5000
2	IPアドレス	
	ポート	5000
3	IPアドレス	
	ポート	5000
4	IPアドレス	
	ポート	5000
	IPアドレス	

- ・「送信間隔(秒)」:デフォルト 300秒
(状態通知パケットを定期送信する間隔を設定します)

3) 画面下部にある[適用]を押下してください。状態通知パケットの送信を開始します。

<2>TELNETおよびターミナルソフトで設定する場合

1) admin権限でリブーターにログインしてください。

2) 以下の変数の設定を行います。

syslogEnabled	「2」に
ipAdCenter	IPアドレスを指定します。 (RSC系:8箇所まで) (複数箇所指定する場合、「 コンマ 区切り」で入力すれば指定可能です。) 例: 192.168.0.1,192.168.0.2,192.168.0.3
centerSendTimer	状態通知パケット定期送信間隔(秒)

●変数の設定値変更方法●

1) TELNETやシリアル通信でログイン後、「>」が表示されている状態で「.(ピリオド)」「変数」「=(設定希望値)」と入力し、Enterを押下してください。

```
Password:
OK
Noname> .syslogEnabled=2
syslogEnabled=2
Noname> write 220 Command OK.
Noname>
```

2) 次行に、有効な値であればその値が、無効な値であれば現状値が表示されます。

3) その設定を書き込むため「write」と入力し、Enterを押下してください。「220 Command OK」と表示されれば、書込成功です。

3) 「q」もしくは「exit」と入力し、Enterを押下して、コマンドラインを終了してください。

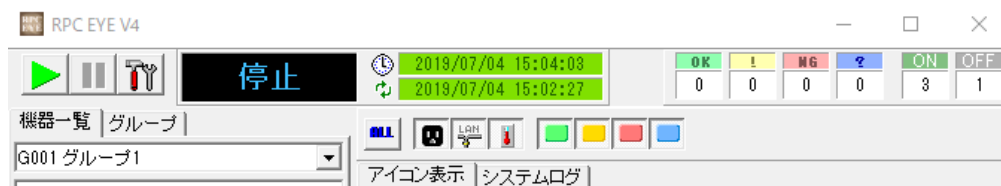
お願い 他の機能の設定方法は、各種リブーターの詳細取扱説明書をご覧ください。
<https://www.meikyo.co.jp/download/>


[3] RPC EYE V4へのリブーター登録方法

●準備●

- ・リブーターのDHCP機能をOFFにし、IPアドレスを固定にしておいてください。
- ・リブーターの「MACアドレス」「IPアドレス」をメモしておきます。
リブーターの「システム情報」で、両方とも調べるができます。
- 詳しくはリブーター同梱の「セットアップガイド」をご参照ください。

- 1) RPC EYE V4を起動します。「停止」状態になっていることを確認します。

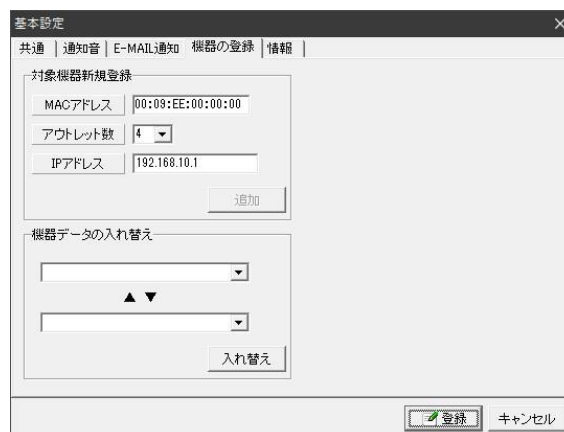


「監視中」となっている時はを押下し、「停止」状態にしてください。

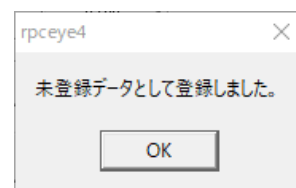
- 2) を押下し、「基本設定」画面にします。

- 3) 「機器の登録」タブの【対象機器新規登録】で、登録するリブーターの情報を入力します。

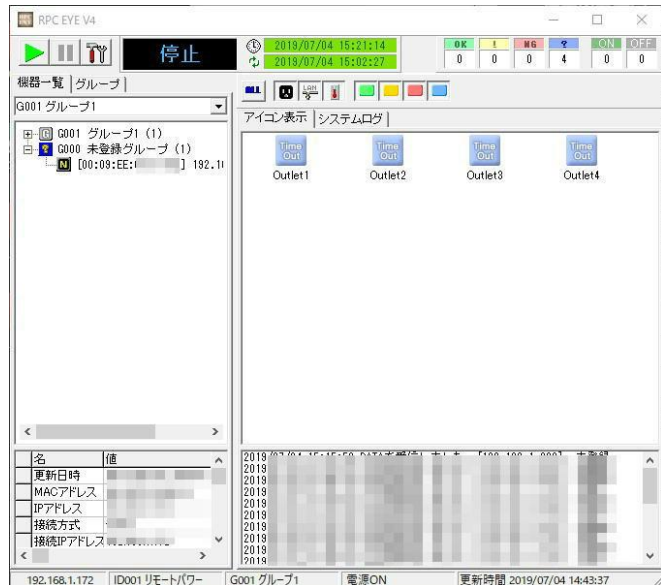
- ・MACアドレス
- ・アウトレット数 (2/4/8)
- ・IPアドレス



- 4) [登録]を押下すると、右のようなウィンドウが表示されますので[OK]を押下します。



- 5) 基本画面に戻ると「機器一覧, グループ表示エリア」で「G000 未登録グループ」に台数が増え, [+]を押下すると, 3)で登録したMACアドレスが表示されています。その行をダブルクリック, もしくは右クリック後「新規登録」をクリックしてください。



- 6) 「機器情報 登録/編集」画面になります。必要に応じて「名称登録」, 「接続」, 「ログ保存」, 「通知機能」, 「情報」のタブを選択し, 各項目を設定します。設定後, [登録]を押下してください。

★各設定項目については3.[3](p.23)をご覧ください。

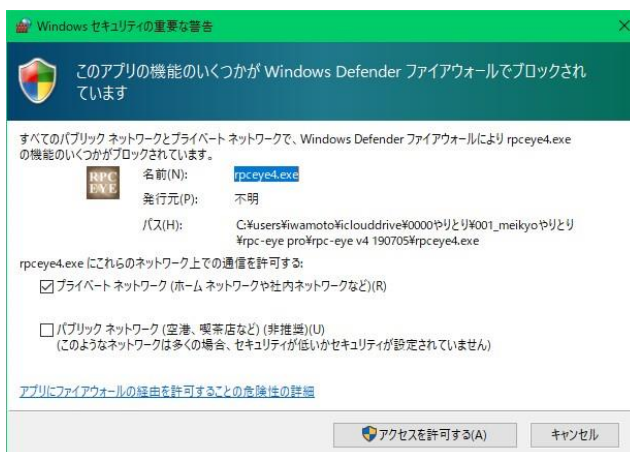


- 7) 基本画面に戻ります。

[4] 監視

▶ ボタンを押下し「監視中」の状態にすると、基本画面右下の「監視情報受信表示エリア」に DATA 受信状況が表示されます。

UDP パケットを受信するためセキュリティチェックソフトが働く場合があります。その場合は許可を与えてください。

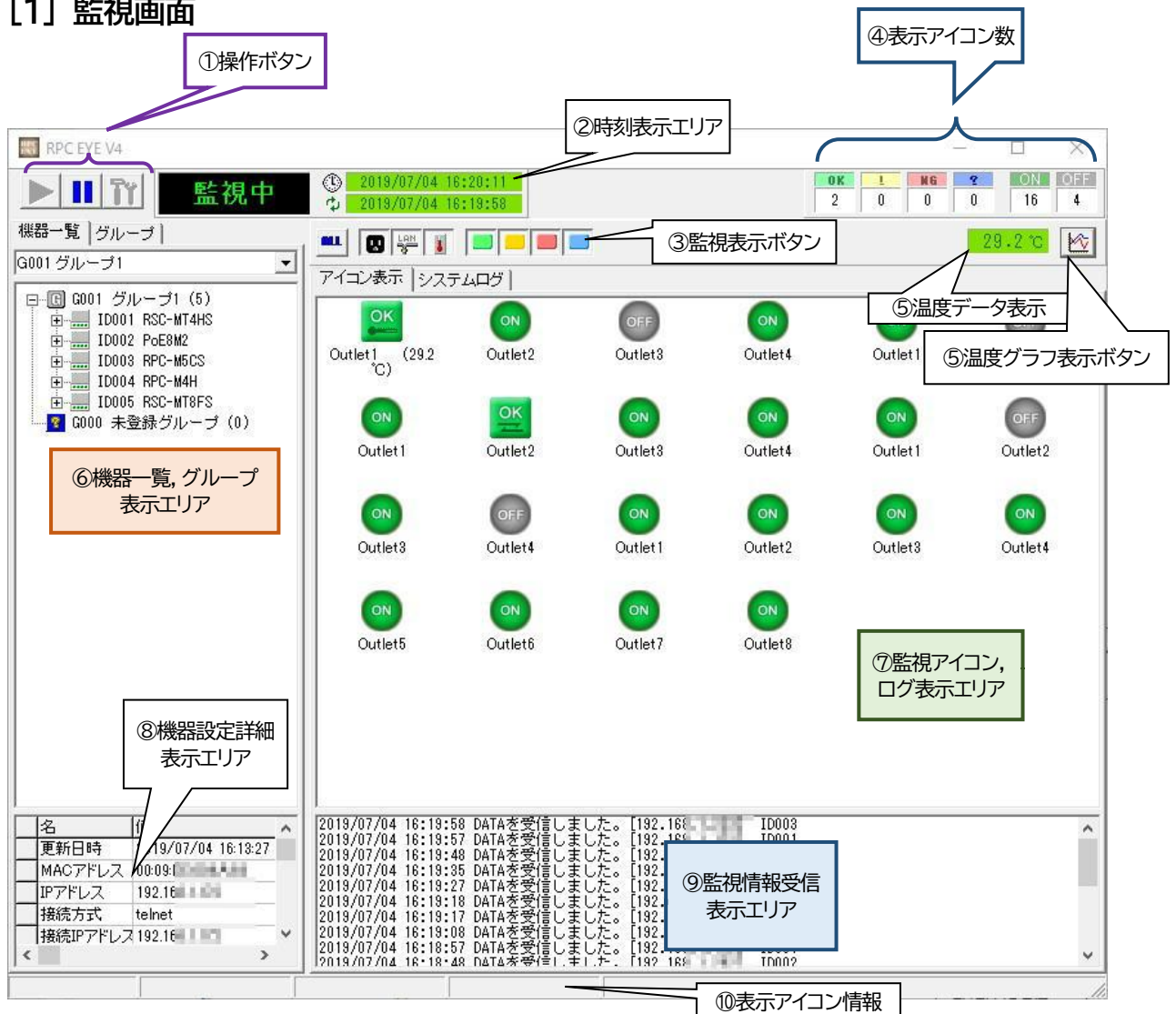


未登録機器の監視データを受信すると、監視情報受信表示エリアに未登録と表示され、機器一覧表示エリアの未登録グループに登録機器台数が表示されます。

注意 ルータ経由でUDPパケットを受信する場合、ルータからのポートフォワードが必要です。設定に関しては、ルータのマニュアルをご覧ください。

3.画面説明・各種設定方法

[1] 監視画面



①操作ボタン

監視実行ボタン



監視を実行します。

監視停止ボタン



監視を停止します。

監視設定ボタン



監視の基本設定をします。

★「監視設定ボタン」押下後の設定項目は[2](p.18)で扱います。

注意









監視実行中、「監視設定ボタン」はクリックできません。「監視停止ボタン」をクリックして監視停止中に監視設定を行ってください。

②時刻表示エリア

上段： 現在の日時, 時刻を表示します。

下段： 最新の監視データを受信した日時, 時刻を表示します。

③監視表示ボタン







-  : 全ての監視アイコン表示/非表示を設定します。
-  : 電源状態監視アイコン表示/非表示を設定します。
-  : PING監視アイコン表示/非表示を設定します。
-  : 温度監視アイコン表示/非表示を設定します。
-  : 状態正常時のアイコン表示/非表示を設定します。
-  : 状態注意時のアイコン表示/非表示を設定します。
-  : 状態異常時のアイコン表示/非表示を設定します。
-  : 監視データ障害時のアイコン表示/非表示を設定します。

★ボタンが 凹時:表示 凸時:非表示 となります。

注意 監視表示を[非表示]に設定後, 監視設定をすると, 監視表示設定はリセットされます。(全て表示状態になります。)

④表示アイコン数

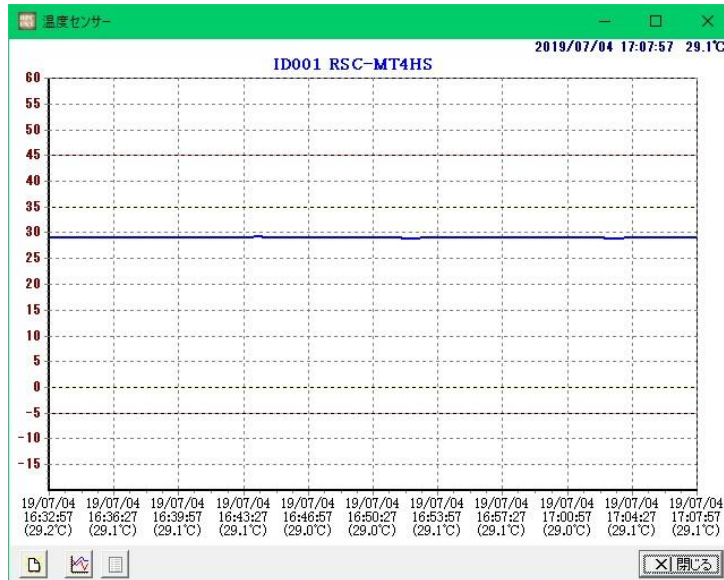
監視アイコン, ログ表示エリアに表示されている監視アイコンの数を監視状態別の数を表示します。

-  : PING監視, 温度監視の正常アイコンの数
-  : PING監視, 温度監視の注意アイコンの数
-  : PING監視, 温度監視の異常アイコンの数
-  : 受信したパケットデータの障害またはパケット未受信時のアイコンの数
-  : 電源状態監視のアウトレットONアイコンの数
-  : 電源状態監視のアウトレットOFFアイコンの数

⑤温度データ・グラフ

「基本設定-共通-固定温度表示」で選択した機器の温度が監視画面上に表示されます。
「温度グラフ表示ボタン」を押下すると温度をグラフ表示することができます。

温度グラフ画面



: 温度データを消去します。



: 温度データをグラフ表示します。



: 画面をテキスト表示にします。

⑥機器一覧, グループ表示エリア (「グループ」タグはPRO版のみ)

登録された機器の一覧が表示されます。

機器のアイコンにより現在の状態を確認できます。



: 監視正常時



: 監視注意時



: 監視警報時



: 状態不明時

「グループ」タグ(PRO版のみ)

- 1) 表示されたグループをクリック選択し、右クリックすると「グループ新規作成」、「グループ名称変更」が出来ます。
- 2) 登録された機器をクリック選択し、右クリックすると「編集」、「削除」、「詳細」、「接続」が出来ます。

★「編集」に関しては3.[3](p.23)で扱います。

●(PRO版のみ)「グループ」タグで行えることは4.(p.31)で扱います。

⑦監視アイコン, ログ表示エリア

<1>アイコン表示

監視するアウトレット全てを表示します。

障害アイコン



未データ

: 監視パケットデータが未受信時に表示します。



タイムアウト

: 受信したパケットデータの障害時に表示します。

電源状態アイコン



ON



OFF

PING監視アイコン



正常



注意



警報

温度監視アイコン



正常



注意



警報

電源状態アイコン

電源ON

: 電源監視状態で電源ONの場合に表示します。

電源OFF

: 電源監視状態で電源OFFの場合に表示します。

PING監視アイコン

PING正常

: PING監視状態で未応答のIPアドレスが無い場合に表示します。

PING注意

: PING監視状態で未応答のIPアドレスがある場合に表示します。

PING警報

: PING監視状態で未応答が「異常」に達した場合に表示します。

「異常」に達する条件は、製品の死活監視設定で設定します。

温度監視アイコン

温度正常

: 温度監視状態で正常時に表示します。

温度注意

: 温度監視状態で注意時に表示します。

温度警報

: 温度監視状態で警報時に表示します。

★PING, 温度の「注意」「警報」時にメール通知を行うことができます。3.[2](3)(p.20)参照。

<2>システムログ

システムログのタブをクリックして表示を切り替えます。



⑧機器設定詳細表示エリア

機器一覧に登録された機器の設定詳細が表示されます。

機器一覧に登録された機器をクリック選択すると機器の設定詳細が表示されます。

[+]を押下して次階層を展開すると次の項目が表示されます。

「状態表示」、「アウトレット」、「温度監視」、「ネットワーク」、「設定内容」、「ログ記録」、「メモ」

名	値
更新日時	2019/07/05 09:01:32
MACアドレス	00:09:EE:00:4A:64
IPアドレス	192.168.1.172
接続方式	telnet
接続IPアドレス	192.168.1.172
接続PORT	23

No	設定内容	状態
1	温度監視	正常
2	電源状態	電源ON
3	電源状態	電源OFF
4	電源状態	電源ON

- 「設定内容」の詳細表示において「PING監視数」の項目がありますが、これは対象機種種のPING監視対象最大数を表示するものです。(各アウトレットで現状設定されているPING監視対象数を表示するものではありません)

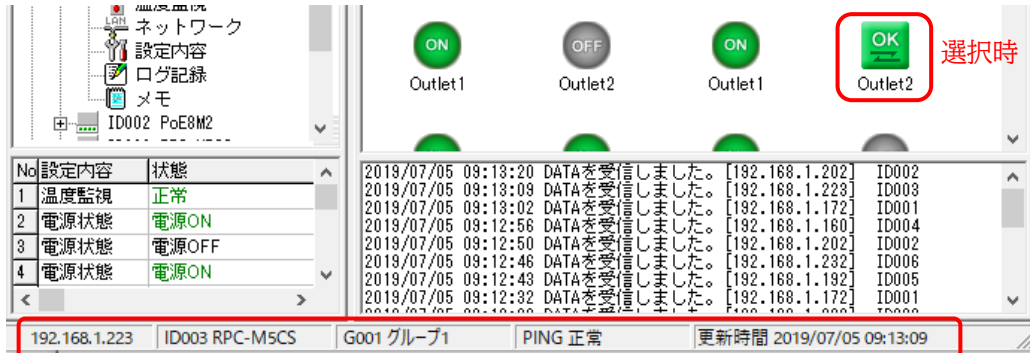
⑨監視情報受信表示エリア

監視情報受信情報を表示します。

2019/07/05 09:11:20	DATAを受信しました。[192.168.1.202]	ID002
2019/07/05 09:11:16	DATAを受信しました。[192.168.1.160]	ID004
2019/07/05 09:11:06	DATAを受信しました。[192.168.1.232]	ID006
2019/07/05 09:11:03	DATAを受信しました。[192.168.1.192]	ID005
2019/07/05 09:11:02	DATAを受信しました。[192.168.1.172]	ID001
2019/07/05 09:10:50	DATAを受信しました。[192.168.1.202]	ID002
2019/07/05 09:10:39	DATAを受信しました。[192.168.1.223]	ID003
2019/07/05 09:10:32	DATAを受信しました。[192.168.1.172]	ID001
2019/07/05 09:10:26	DATAを受信しました。[192.168.1.160]	ID004
2019/07/05 09:10:20	DATAを受信しました。[192.168.1.202]	ID002

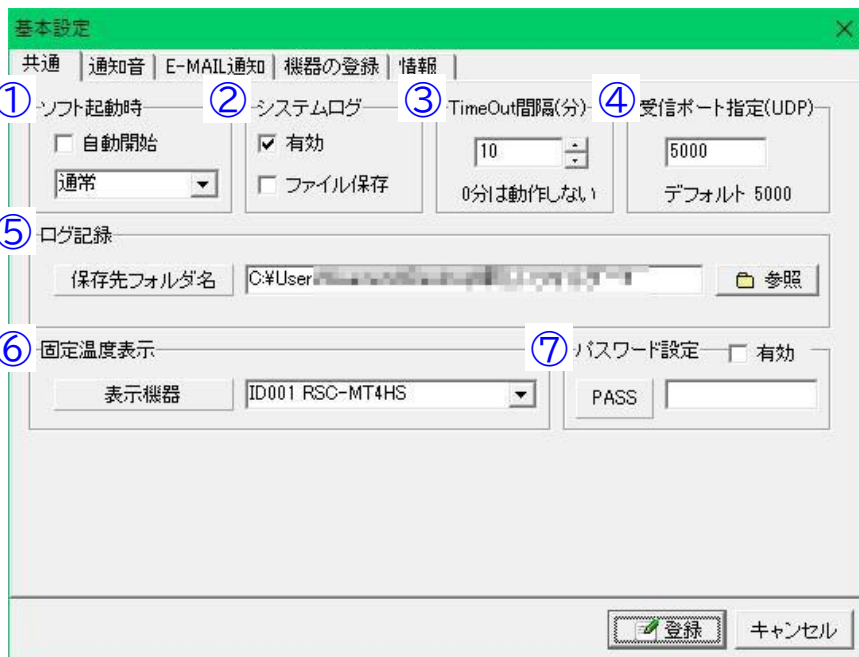
⑩表示アイコン情報

監視アイコン、ログ表示エリア(⑦)の監視アイコンをクリックすると、ステータスバーに監視アイコンの情報が表示されます。



[2] 基本設定画面

(1) 共通



①「ソフト起動時」

「自動開始」

チェックを付けるとソフト起動時に監視を実行します。

[プルダウンメニュー]

[通常] [最小化] [最大化]

起動時の画面を通常, 最小化, 最大化から選択できます。

②システムログ

「有効」

チェックを付けるとログ表示エリアにシステムログを表示します。

「ファイル保存」

チェックを付けるとシステムログを保存します。

(ファイル名「syslog*****.txt(*****:年月日)」として, RPCEYE4.EXEと同じフォルダに生成されます。)

③TimeOut間隔(分)

設定した時間以上、登録した製品から状態通知パケットが到着しない場合に障害と判断して、アイコンを障害アイコンに変更します。 デフォルト:10(分)

④受信ポート指定(UDP)

デフォルト:5000。リポーター側で指定したポート番号と合わせてください。

⑤ログ記録

保存先フォルダ名を選択します。(デフォルトはRPCEYE4.EXEと同じフォルダ)

⑥固定温度表示

選択した機器で検知した温度を監視画面上(3.[1]⑤)に表示します。

⑦パスワード設定

起動時のパスワードを設定できます。

「有効」にチェックし、パスワードを入力します。

(2)通知音



「注意時」、「警報時」、「回復時」、「タイムアウト時」にそれぞれの通知音を鳴らすことができます。

無効 チェックを付けると通知音は鳴りません。

標準音 チェックを付けると通知音はWindowsの標準音が鳴ります。

ファイル指定 チェックを付け音声ファイルを指定すると通知音は指定した音声ファイル(*.wav)を鳴らすことができます。

(3)E-MAIL通知

「E-MAIL送信を行う」 チェックを付けるとE-MAIL送信を行います。

★初期状態ではチェックボックスがグレーアウトになっています。

下記のアドレス欄やSMTPサーバ欄を記入するとチェックを入れられる状態になります。

「送信先E-MAILアドレス」 送信先E-MAILアドレスを入力してください。

「送信元E-MAILアドレス」 送信元E-MAILアドレスを入力してください。

「接続方式」 認証方式を選択します。(デフォルト[None])
[None] [Simple Login]

●「接続方式」で[Simple Login]選択時、次の2項目を入力可能になります。

「ユーザーID」「パスワード」

「件名」 E-MAILの件名を入力してください。

「SMTPサーバアドレス(送信)」 SMTPサーバアドレス(送信)を入力してください。

「SMTPポート」 (デフォルト:25)

【送信制限】

「1日の送信数を制限する」 チェックを付け、回数を設定すると1日の送信回数を制限できます。(最大 100回)

【送信テスト】

「送信テスト」をクリックすると、上記の設定を書き込んだ後、「送信先E-MAILアドレス」にテストメールを送信できます。

●「送信テスト」ボタンをクリックすると設定を書き込むため、基本設定画面がいったん閉じられます。そして、「送信しました」が表示されます。

(4)機器の登録

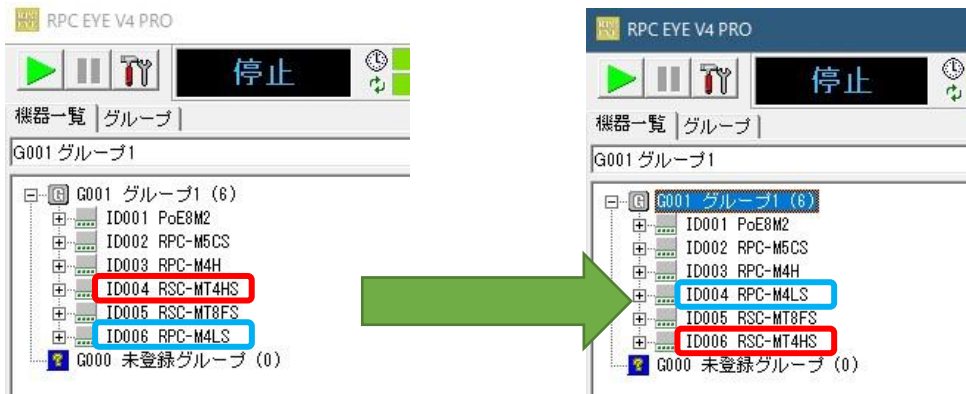
【対象機器新規登録】

MACアドレス MACアドレスを設定します。
 アウトレット数 アウトレットの数を選択します。
 IPアドレス IPアドレスを設定します。

「追加」ボタンをクリックし対象機器の登録をします。

【機器データの入れ替え】

既に登録された2台の機器データの順序を入れ替えたいときに使用します。



プルダウンメニューで入れ替えたい2台を選択し、
 [入れ替え]を押下することによって
 2台の順序を入れ替えることができます。

(5)情報



【基本情報】 PCのIPアドレスが表示されます。

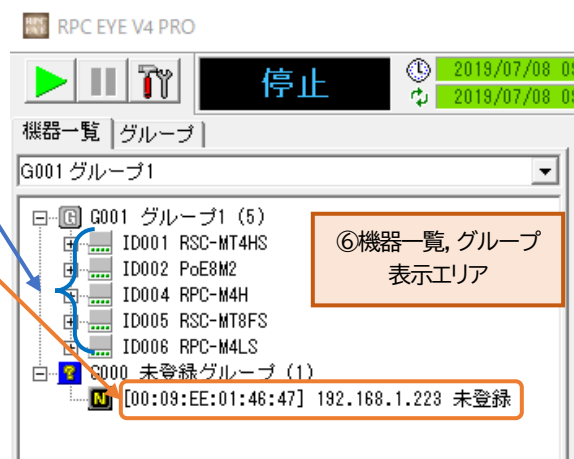
【デバッグ用 送受信データ】 「受信データの保存」にチェックを入れると、rpceye4.exeが保存されているフォルダにテキストファイル形式でデータが保存されます。

「製品名」「シリアルナンバー」「(機器)登録可能数」が表示されます。

[3] 機器情報 登録/編集画面

- 既にグループに登録してある機器設定を編集する
- 3.[2](4)(p.21)で登録した(「未登録グループ」に入っている)機器を、グループに登録する

これらの場合に使用する画面です。



- 「監視停止ボタン」をクリックし監視停止状態にする必要があります。
- 3.[2](4) (p.21)で「機器の登録」を行うと、「未登録グループ」に機器が増えます。「MACアドレス」と「IPアドレス」情報が表示されます。未登録の機器のところを右クリック→「新規登録」を選択して機器の登録、設定します。

- 「登録するグループ」
 - ・この機器をどのグループに属させるかプルダウンメニューから選択します。
 - ・グループを追加する場合は、「⑥機器一覧, グループ表示エリア」の「グループ1」で右クリックし、「グループ新規作成」を選択して追加します。

(1)名称登録

- 「機器名称」 : 機器名称を設定します。(「⑥機器一覧, グループ表示エリア」に表示されます。) [全角10文字, 半角20文字以内]
- 「メモ」 : メモを記入できます。(「⑧機器設定詳細表示エリア」(p.17), 「詳細情報」(p.29)に表示されます。)[全角10文字, 半角20文字以内]
- 「アウトレット名称」 : アウトレット名称を設定します。(監視アイコンの下に表示されます。)[全角10文字, 半角20文字以内]
★温度監視アイコンにする場合は全角6文字、半角11文字以内にしてください。
- 「アイコン表示」 : 表示するにチェックし, 電源状態, 死活監視, 温度監視を選択します。選択したアイコンが表示されます。
- 「機器情報」 : 機器情報を表示します。
次項「接続」-「機器からの情報受信 電源制御(TELNET接続)」-[情報取得]をクリックした際に取得した「機器バージョン情報(sysDescr)」の情報を表示します。[CLS]をクリックすると消去できます。
(RSC-MT4H, RSC-MT8F, RSC-MT8FPの3機種に関しては, 仕様の関係で取得することができません。)

(2)接続

【接続方法】

- 「接続方法」 : [なし] [http] [telnet] から選択します。
PRO版で「グループ制御」を使用される場合, [http] [telnet]を選択してください。
- 「IPアドレス」 : 機器のIPアドレスを入力します。[PRO版グループ制御, 必須]
- 【受信したIPアドレスに対して接続を行う】 : チェックを入れると, 状態通知パケット内のIPアドレス

情報によって自動的にIPアドレス情報を更新するようになります。

「PORT」 : PORT番号が表示されます。([http][telnet]は自動的に「80」「23」が表示されます。)

【機器からの情報受信 電源制御(TELNET接続)】

「パスワード」 : リブーターへのTELNET接続に使用するパスワードを入力します。
[PRO版グループ制御, 必須]

★機種によっては「ID」も入力する必要があります。
後述の注意をご覧ください。

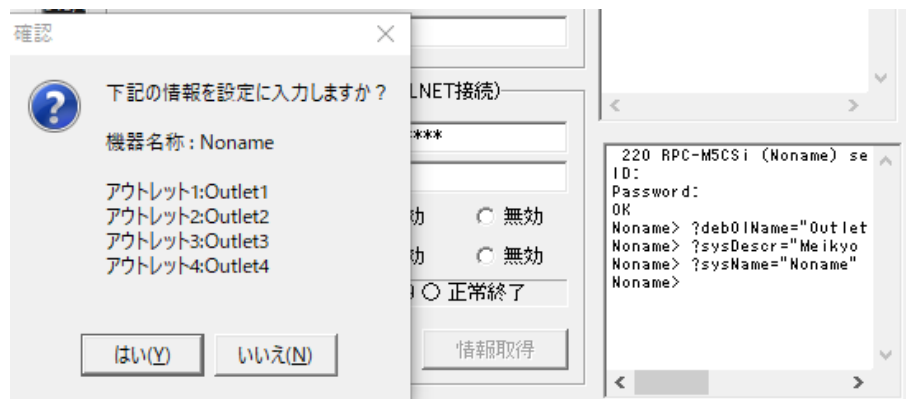
「TELNET PORT」 : ポート番号が表示されます。(デフォルト:23) [PRO版グループ制御, 必須]

「ダイレクト電源制御」 : [有効]で個別情報から直接電源制御が出来ます。

「グループ設定変更」(PRO版のみ) : 「グループ制御」(本書4.(p.31))を行う際に、この機器の制御/設定変更を[有効]にするか[無効]にするかの選択をします。

【最終時間】 制御の最終時間, 情報を表示します。

「情報取得」 : クリックすると対象機器から「機器名称」「アウトレット名称」「機器バージョン情報」を取得できます。そして、その情報から「機器名称」「アウトレット名称」を設定することもできます。(「機器バージョン情報」は前項「名称登録」-「機器情報」の欄に表示されます。)
(RSC-MT4H, RSC-MT8F, RSC-MT8FPの3機種に関しては、「アウトレット」名称のみ反映可能です。仕様の関係で「機器名称」は空欄になりますので、「名称登録」(p.24)で任意の名称をご登録ください。)



●「パスワード」に関する注意●

機種によって入力内容が異なります。

【Sシリーズ】

- ・RPC-M2CS
- ・RPC-M5CS
- ・RPC-M4LS
- ・RSC-MT4HS
- ・RSC-MT8FS

【PoEリブーター】

- ・PoE8M2

→タイプA「ID必要」

【Sシリーズ以前のRPC系, RSC系】

- ・RPC-M2C ・RPC-M5C ・RPC-M4L ・RPC-M4H
- ・RSC-MT4H ・RSC-MT8F ・RSC-MT8FP

→タイプB
「パスワードのみ」

(タイプA) 半角英数字で「**[パスワード]**@**[ID]**」をご入力ください。

★リブーターに登録されている**TELNETのIDとパスワード**を使用します。
デフォルトは「magic@admin」となります。

(タイプB) 半角英数字で「**[パスワード]**」のみをご入力ください。

デフォルトは「magic」となります。

(3)ログ保存

	ファイル名	記録
1	d00601190704.csv	<input type="checkbox"/> 記録する
2	d00602190704.csv	<input type="checkbox"/> 記録する
3	d00603190704.csv	<input type="checkbox"/> 記録する
4	d00604190704.csv	<input type="checkbox"/> 記録する

【記録する】にチェックすると、「基本設定-共通-ログ記録」(本書3.[2](1)⑤(p.21))で選択した保存先フォルダにアウトレットごとに記載されたファイル名で記録されます。

(4)通知機能

The screenshot shows a software window titled '機器情報 登録/編集' (Machine Information Registration/Editing) with a close button (X) in the top right corner. The window is divided into several sections. At the top, there are two input fields: '登録するグループ' (Group to register) containing 'G001 グループ1' and 'MACアドレス' (MAC address) containing '00:09:EE:01:56:0F'. Below these is a tabbed interface with four tabs: '名称登録' (Name registration), '接続' (Connection), 'ログ保存' (Log saving), and '通知機能' (Notification function), which is currently selected. Under the '通知機能' tab, there are two main sections. The first is 'E-MAIL 送信条件' (E-MAIL transmission conditions), which includes four checkboxes: '注意時' (Warning time), '警報時' (Alarm time), '回復時' (Recovery time), and 'タイムアウト時' (Timeout time). Below these is another checkbox labeled 'IP/MAC アドレス情報添付' (Attach IP/MAC address information). The second section is '通知音設定' (Notification sound settings), which also includes the same four checkboxes as the first section. At the bottom of the window, there are two buttons: '登録' (Register) and 'キャンセル' (Cancel).

【E-MAIL送信条件】

チェックした条件時にE-MAIL送信します。(複数選択可能)

【IP/MACアドレス情報添付】：チェックするとIP/MACアドレス情報を添付してE-MAIL送信します。

【通知音設定】

チェックした条件のE-MAIL送信時に通知音が鳴ります。(複数選択可能)

(5)情報

The screenshot shows the same software window as in the previous image, but with the '情報' (Information) tab selected. The '登録するグループ' and 'MACアドレス' fields remain at the top. The '情報' tab contains two input fields: 'アウトレット数' (Outlet count) with the value '4' and 'IPアドレス' (IP address) with the value '192.168.1.232'. At the bottom, the '登録' and 'キャンセル' buttons are visible.

「アウトレット数」：機器のアウトレット数が表示されます。

「IPアドレス」：機器のIPアドレスが表示されます。

[4] 個別情報画面

「監視アイコン、ログ表示エリア(3.[1]⑦)」の監視アイコンをダブルクリックすると、監視アイコンの個別情報が表示されます。



[接続] : クリックすると「機器情報 登録/編集-接続」(p.24)の「接続方式」で設定した内容で接続されます。接続後の設定、制御は、各機器の取扱説明書を参照してください。

[なし]に設定した場合は「接続ボタン」がクリックできません。

[詳細] : クリックすると[5]の詳細情報画面になります。

[編集] : クリックしますと、機器の項目編集(前項[3])が出来ます。

[5] 詳細情報

「基本情報」「死活状態」「応答状態」「温度情報」タブより選択し各項目を表示できます



(1)基本情報

監視機器の「IPアドレス」「MACアドレス」「アウトレット名称」「アウトレット状態」を表示します。

(2)死活状態

No.	電源	判定 温度判断	送信数 動作設定	無応答 警報温度	対象数 注意温度	動作 Hys温度	実行数 現在温度
1	OFF	正常	下限ON	-5°C	0°C	2°C	28.7°C
2	ON		10	10	1	無動作	0
3	ON	正常	10	10	1	リポート	0
4	ON		10	10	1	無動作	0
5							
6							
7							
8							

- 「電源」 : 電源状態を表示します。
- 「判定/温度判定」 : PING監視判定, または温度監視判定を表示します。
- 「送信数/動作設定」 : PING送信数, または温度動作設定を表示します。
- 「無応答/警報温度」 : PING監視無応答数, または温度監視の警報温度を表示します。
- 「対象数/温度注意」 : PING監視対象数, または温度監視の温度注意を表示します。
- 「動作/Hys温度」 : PING監視の動作, または温度監視のヒステリシス温度を表示します。
- 「実行数/現在温度」 : PING監視の実行数, または現在温度を表示します。

(3)応答状態

No.	IPアドレス1		IPアドレス2		IPアドレス3		IPアドレス4	
	状態	無応答数	状態	無応答数	状態	無応答数	状態	無応答数
1								
2								
3	正常	0	正常	0	正常	0	正常	0
4								
5								
6								
7								
8								

- IPアドレス1~4 : アウトレットごとに表示します
 状態 : PING監視の状態を表示します。
 無応答数 : PING監視の無応答数を表示します。

●お詫び●8アウトレットの機種(RSC-MT8F, RSC-MT8FP, RSC-MT8FS)では「無応答数」が正しく表示されません。

(4)温度情報

設定内容	
1	温度が-5℃以下になった場合、アウトレット1をON
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

指定温度設定			
上限警報	45	下限警報	-5
上限注意	35	下限注意	0
上限Hys	2	下限Hys	2

【設定状態】

- 設定内容 : 温度監視の設定内容が表示されます。

【指定温度設定】

- 上限警報 : 上限警報温度を表示します。
 上限注意 : 上限注意温度を表示します。
 上限Hys : 上限ヒステリシス温度を表示します。
 下限警報 : 下限警報温度を表示します。
 下限注意 : 下限注意温度を表示します。
 下限Hys : 下限ヒステリシス温度を表示します。

【温度状態】

- : 温度監視の状態と現在の温度を表示します。

4.(PRO版のみ)グループ制御

グループ単位で一斉に設定, 制御をすることが出来ます。

★「接続」(p.26)で、「接続方法」のIPアドレス, 「機器からの情報受信 電源制御(TELNET接続)」のパスワードとTELNET PORTの設定をしておく必要があります。またリブータのTELNET機能を有効にする必要があります。


「監視画面」の「機器一覧, グループ表示エリア」(⑥)上部にある「グループ」タグをクリックします。

The screenshot shows the RPC EYE V4 PRO software interface. The top bar displays the title 'RPC EYE V4 PRO' and a status '監視中' (Monitoring). The main area is divided into several sections:

- Control Target Group Selection:** A dropdown menu shows '3001グループ1' selected.
- Command List Table:**

No	コマンド名称	ファイル名
1	RPC2	RPCの後2回.txt
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
- Form Fields:** '名称' (Name) is set to 'RPC2', and 'ファイル' (File) is set to 'C:\...'. Buttons for '登録' (Register), '編集' (Edit), and 'ファイル指定' (File Selection) are present.
- Outlet Status Grid:** A grid of 24 outlets (Outlet 1 to Outlet 24) with status indicators (ON/OFF/OK/NG). Outlet 1 is ON, Outlet 2 is OFF, Outlet 3 is ON, Outlet 4 is ON, Outlet 5 is ON, Outlet 6 is ON, Outlet 7 is ON, Outlet 8 is ON, Outlet 9 is OK, Outlet 10 is OK, Outlet 11 is OK, Outlet 12 is OK, Outlet 13 is OK, Outlet 14 is OK, Outlet 15 is OK, Outlet 16 is OK, Outlet 17 is OK, Outlet 18 is OK, Outlet 19 is OK, Outlet 20 is OK, Outlet 21 is OK, Outlet 22 is OK, Outlet 23 is OK, Outlet 24 is OK.
- System Log:** A scrollable log showing data reception events with timestamps and IP addresses.

[1] 登録方法

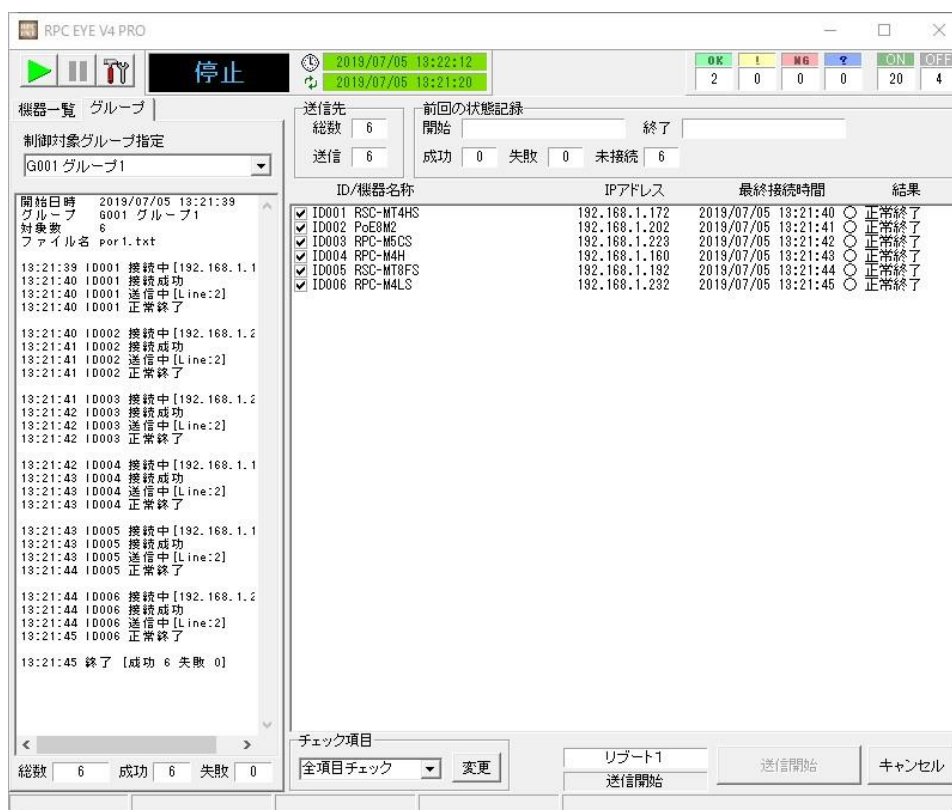
- 1) 制御対象グループ指定で「グループ」を選択します。
- 2) [編集]をクリックします。
- 3) 登録したい行(No.1~10)をクリックします。
- 4) 下部の「名称」に任意の名称を設定します。[全角10文字, 半角20文字以内]
- 5)  をクリックし, 送信したい設定ファイル(★)を選択します。
★設定ファイルの作成方法は, 後の[4]をご覧ください。
- 6) [登録]をクリックします。
(登録をしない場合は, [キャンセル]で戻ります。)

[2] 削除方法

- 1) 削除したい行で「編集」をクリックします。
- 2) 「名称」と「ファイル名」をそれぞれ削除した後、「登録」をクリックします。

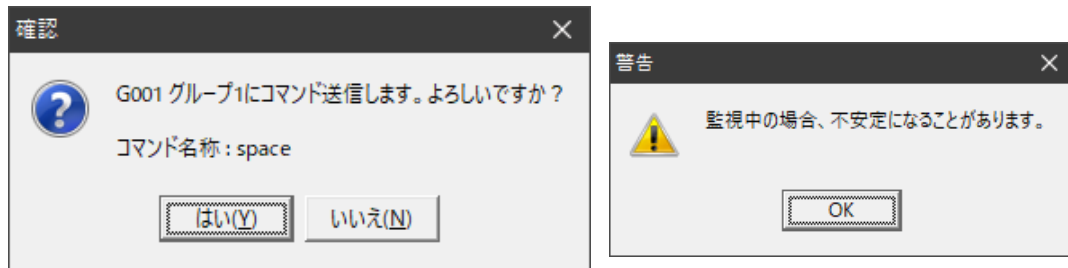
[3] 実行方法

- 1) 実行したい行でダブルクリック, または, ファイル指定を行うと実行画面になります。[キャンセル]をクリックすると戻ります。



- 2) 右側ウィンドウに送信先の一覧が表示されます。
左端チェックボックスにチェックがついているアドレスは, アイコン登録の編集の接続タグの中で, 設定変更が有効になっているものです。この画面でも変更ができます。
【チェック項目】を利用して, 制御する機器指定を簡単に行うこともできます。
[全項目チェック] [全項目外し] [正常のみチェック] [失敗のみチェック]
[未送信のみチェック]
●送信先チェック後は【チェック項目】の[チェック状態保存]を選択し, [変更]をクリックしてください。
[送信開始]をクリックするなどして別画面に遷移し, 再びグループ制御実行画面に戻ってきても, 保存されていたチェック状態は保持されます。
チェック状態保存をしないまま送信開始をクリックするとチェック前の状態で実行されますのでご注意ください。

- 3) [送信開始]をクリックすると確認画面が表示されます。[はい]を押下すると送信が始まり、結果が表示されます。(監視中の場合、不安定になる旨の警告が表示されます。)



[4] 設定ファイル作成方法

設定ファイル(txt形式)は次の書式に従って作成してください。コマンドは、リブータのTELNETで使用できるコマンドを利用できます。【TELNET用コマンドは、各種リブータの「詳細取扱説明書」をご覧ください。】

- ・1行目には「@RPC」と入力してください。(リブータへのログインを行います。)
 - CPUリセット実行後にコマンドを投げるようなスクリプトを作成する場合、下記の「@WAIT」に加え、再度「@RPC」が必要となります。
- ・2行目は「改行のみ」の空白行にしてください。
- ・行頭に「/」があるとコメント行になります
- ・使用できるコマンドには、PORn, PSRnのような「制御コマンド」と、ipAdNtpServerのような「変数」があります。
 - ★「変数」での設定を行う場合、下記の例のように「.(ピリオド)」+「変数名」+「=設定値」のように入力します。そして、リブータのFROMに書き込むために「write」が必要です。
 - ★変数の設定値に日本語を使用する場合、「シフトJIS」で保存する必要があります。
- ・行頭に「/」があるとコメント行になります
- ・「@WAIT」の行では、n[msec.]スクリプトを停止させることができます。
 - 「@WAIT 10000」で、10000msec.=10秒(最短)停止できます。
 - ただし、実際は監視情報の処理なども行うため、設定したウェイトタイムよりも長く停止します。調整を行って数値設定なさってください。

例)スケジュール設定ファイル

```

@RPC
                                     ←改行のみ
.schEnabled=1,0,1,0,1,0,1,0,1,0,1,0,1,0,1,0
.schDay=0,1,2,3,4,5,6,7,0,1,2,3,4,5,6,7,0,1,2,3
.schHour=0,1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16,17,18,19
.schMinute=1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16,17,18,19,20
.schOutletNo=0,1,2,100,101,102,103,103,105,106,106,108,0,1,2,100,101,102,103,104
.schAction=1,2,3,0,1,2,3,0,1,2,3,0,1,2,3,0,1,2,3,0
Write
  
```

【内容説明】

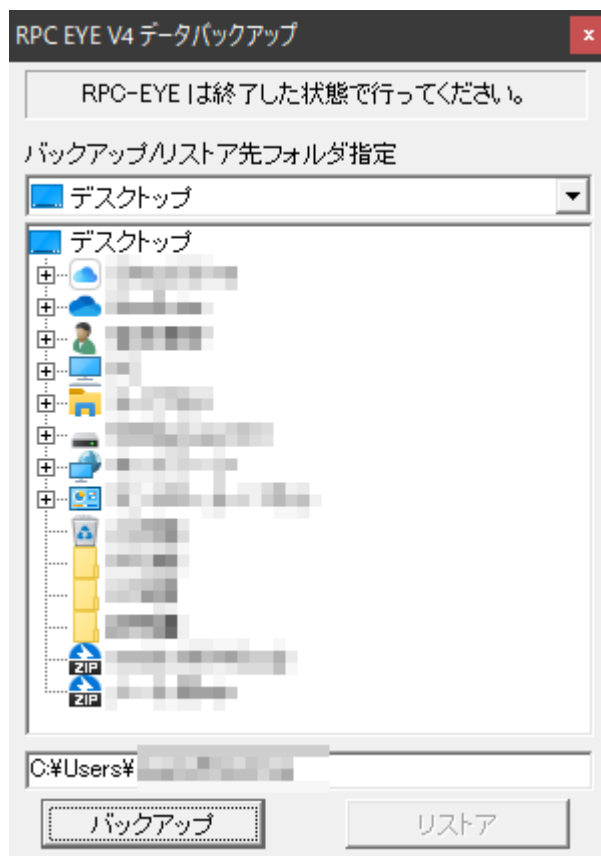
schEnabled	: スケジュールの有効化 0: 無効 1: 有効
schDay	: スケジュール曜日 0: 毎日 1: 日 2: 月 3: 火 4: 水 5: 木 6: 金 7: 土
schHour	: スケジュール時間 (0~23の整数)
schMinute	: スケジュール分 (0~59の整数)
schOutletNo	: スケジュールアウトレット 0: 全アウトレット 1~4: アウトレットNo 100: 全仮想アウトレット 101~108: 仮想アウトレットNo
schAction	: スケジュールアクション 0: NoAction 1: Reboot 2: powerOn 3: powerOff
Write	: 設定をFROMIに書き込み

5.設定のバックアップ方法

●rpcv4backup.exe使用方法

複数台のPCにRPC EYE V4をインストールし、同じ設定で使いたい場合に便利です。

Windowsスタートメニューで「データバックアップ V4用」を起動すると、【RPC EYE V4データバックアップ】の画面が表示されます。



(1)バックアップ方法

ふさわしいフォルダを指定し[バックアップ]を押下すると、「rpceye4.dat」「rpceye4.ini」「rpceye4.lst」の3つのデータが作成されます。

(2)リストア方法

3つのデータが格納されているフォルダを指定し[リストア]を押下すると、RPC EYE V4の設定が引き継がれます。

<PC(A)の設定を、PC(B)にコピーする場合、(1)で作成した3つのデータをPC(B)に保存します。そして、PC(B)上の「rpceyev4.exe」「rpcv4backup.exe」の両方が入っているフォルダで、rpcv4backup.exeを起動し(2)を実行します。>

6.ログ仕様

[1] 保存ログ形式

「RPC EYE V4」の保存ログはCSVデータフォーマットで14個のデータ単位で保存されます。

01, 02, 03, 04, 05, 06, 07, 08, 09, 10, 11, 12, 13, 14

01	:	年月日	表示例 2007/12/12
02	:	時分秒	表示例 12:10:10
03	:	ID番号	
04	:	アウトレット番号	
05	:	設定内容	0:電源 1:PING 2:温度
06	:	電源状態	0:OFF 1:ON 8:Timeout 9:不明
07	:	PING状態	0:正常 1:注意 2:異常 8:Timeout 9:不明
08	:	温度状態	0:正常 1:注意 2:警報 8:Timeout 9:不明
09	:	電源ステータス	0:電源OFF 1:電源ON 2:OFF遅延中 5:ON遅延中
10	:	電源カウント	電源変化の残り秒数
11	:	Judge	1:正常 2:異常 3:注意
12	:	アクションカウント	Action実行回数
13	:	現在の温度	
14	:	アクションステータス	0:正常 1:高温動作実行 2:低温動作実行

[2] E-MAIL形式

メール内容(例)

2019/07/16 13:24:59 (2019/07/16 13:24:49)
ID007 区役所南駐車場 (G001 グループ1)
設置日時 2019年6月13日 TNX05689

4: 温度 正常 (4.4℃) <- 温度 注意 P外気温

IP Addr : 192.168.0.191

MAC Addr : 00:09:EE:00:97:F5

メール内容の説明

現在日時 (前回の日時 新規の場合空白)

ID 機器名称 (G001 グループ名)

メモ情報

アウトレット番号: 現在の状態 <- 変化前の
状態 アウトレット名称

IPアドレス(※)

MACアドレス(※)

(※)IP/MACアドレス情報追加の設定ON時のみ

ご注意

- (1) 本書および製品の内容の一部または全部を無断で複写複製することは禁じます。
- (2) 本書および製品の内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (3) 本製品を運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (4) 本製品がお客様により不当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または弊社および弊社指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 弊社指定以外のオプションを装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。

その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

ネットワーク稼働監視ソフト

RPC EYE V4 取扱説明書

著作権所有 明京電機株式会社

第1.0版

2019年 8月

明京電機株式会社

〒114-0012 東京都北区田端新町1-1-14

東京フェライトビル4F

TEL (03)3810-5580 FAX (03)3810-5546

URL : <https://www.meikyo.co.jp/>

E-mail : form@meikyo.co.jp